

令和 7 年度ごみゼロやまがた推進功労者表彰被表彰者一覧

No.	種別	氏名・団体名	代表者	所在地	推薦者	功 績	受 賞 歴
1	団体	山形市立第一小学校	校長 石澤 友章	山形市本町一丁目5番24号	自己推薦	・平成18年度から20年間、児童会が中心となり全校児童で資源回収に取り組んでいる。令和6年1月から12月までの1年間で、ダンボールや雑誌、アルミ缶など4,066kgの資源を回収した。地域住民の方からも家庭の資源を持参いただき、地域と連携しながら回収を行っている。 ・令和5年度から、旧校舎をリノベーションし、創造都市やまがたの拠点施設として整備された「やまがたクリエイティブシティセンターQ1（キューイチ）」の美化奉仕活動を児童が行っている。 ・これらの活動は、学校教育を通じてごみの減量とリサイクルの推進に大きく寄与しているほか、地域環境保全活動にも貢献している。	・令和6年12月 感謝状受賞／公益財団法人古紙再生促進センター
2	団体	もがみ南部商工会女性部	部長 松田 満理子	最上町大字向町584	山形県商工会女性部連合会	・令和2年度から、部員に呼びかけて毎年約2万3千個のエコキャップを回収し、ごみ削減とリサイクルの推進に努めている。回収したキャップは、最上地区の企業と連携してNPO法人エコキャップ推進協会に寄贈し、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ推進運動」に活用されている。 ・令和5年度の研修会では木製家具の製造工程で発生する木の端材を使った「箸づくりワークショップ」を実施し、資源を有効に活用するリサイクルについて学び、理解を深めている。 ・平成12年から部員を通じて家庭で使わない新品のタオルや使用済みのタオルを収集し、最上町の福祉団体や福祉施設に寄贈したことが評価され、平成29年10月に、ごみゼロやまがた推進功労者表彰を受賞した。その後も継続して寄贈しており、令和6年度に寄贈されたタオルは217枚にのぼり、施設利用者の方のからだ拭き用のタオルや、施設の掃除用のタオルとしてリユースされている。 ・これらの活動は、直近の受賞時と比較して発展が見られ、ごみの減量とリサイクルの推進に大きく貢献しているほか、社会貢献活動にも寄与している。	・平成29年10月 ごみゼロやまがた推進功労者表彰受賞／ごみゼロやまがた推進県民会議
3	団体	酒田市立亀ヶ崎小学校	校長 佐藤 寿尚	酒田市亀ヶ崎二丁目3-55	自己推薦	・平成26年から12年間、毎年春（5月）に最上川河川清掃に取り組み、地域河川の環境美化活動を行っている。 ・この取り組みは、昭和56年から旧酒田市立港南小学校の課外授業の一環として実施されていたもので、旧酒田市立亀城小学校と平成26年度に統合し、酒田市立亀ヶ崎小学校が開校されてからも継続されている。 ・河川清掃の事前には、川や環境をきれいにし大切にする意義についての説明を受け、取り組んだ後には、清掃体験で感じたことをふまえ環境ポスターを作成するなど、児童が環境について深く考えるきっかけとなっている。 ・これらの活動は、学校教育を通じて児童のごみの削減や環境保全に対する意識の醸成につながっており、ごみの減量に大きく寄与しているほか、環境保全活動にも貢献している。	・令和6年5月 河川功労者表彰受賞／庄内地区河川改修促進協議会